



親子スポーツレクリエーション祭が豊中町体育館で開催されました。当日は、夏休み最後の日曜日ということもあり77名の親子が参加しました。市体育指導委員の皆さんがルールを説明・指導し、キンボールやトランポリンなど学校の体育授業にはないニュースポーツを楽しみました。



三豊市交通安全母の会の主催による交通安全マスコット作りが、詫間町勤労会館で行われました。おばあちゃん・お母さん・子どもの三世代で、「ゆとりをもって運転して」という交通安全の願いを込めて、亀のマスコットを作りました。このマスコットは、交通安全キャンペーンで配られる予定です。



詫間町のマリンウェーブで人権・同和問題講演会が開催されました。教育サポーターの仲島正教氏より、差別をなくすには「知る心」「怒る心」「つながりと感動の心」が大切であること、また、「心」の銀行に温かい貯金をいっぱいしていこう！との話がありました。参加した一人ひとりが同和問題をはじめとする、あらゆる差別をなくする意識を高めることができました。

仁尾町文化会館で月見茶会が開催されました。入り口にはすすきを飾り、仁尾町文化協会茶道部の皆さんがすすぎな着物姿で、お茶を振る舞いました。少し暑さが和らぐ夕暮れの月明かりの中で、参加者は心のこもった茶の湯を楽しみました。



みとよHOT ほっとNEWS



詫間町で第21回浦島太郎旗争奪少年少女スポーツ大会が開催されました。真夏の空の下、総勢56チーム・717名が参加し、熱戦が繰り広げられました。結果は次のとおりです。

- 軟式野球 優勝 豊中スポーツ少年団
準優勝 長炭少年野球クラブ
- バレーボール 優勝 詫間ジュニアバレーボールA
準優勝 筆岡ジュニアバレーボールクラブ
- 剣道 高学年 優勝 勝山少年剣道A
準優勝 鶴多津剣道会A
低学年 優勝 (財)玄武道場A
準優勝 勝山少年剣道A



高瀬町の香川西高校体育館で「小学生相撲大会」が行われました。この相撲大会は、7月に台風接近により中止になった高瀬空射矢まつりの協賛行事でしたが、子どもたちからの強い開催希望があり、このたびの開催となりました。1年生から6年生までの男女別にトーナメント戦が行われ、市内の小学生84人が参加しました。

「はっけよい のこった のこった・・・」、顔を真っ赤にしなが、どちらの力士も譲らず、大相撲になる一幕も。友だちや保護者の声援を背にうけて、力いっぱい取り組みました。



9/16

財田町総合運動公園で第55回財田町体育大会が盛大に開催されました。親子おかしとり競争やタイヤ転がし競走、町民総おどりなど家族で参加できる種目も多く、参加者全員で楽しい一日を過ごしました。また、この日は市内各地でも、各小学校区の運動会が行われました。



9/12

高瀬地域子育て支援センターで会員によるフリーマーケットが行われ、約150人の親子が参加しました。もともとは、サイズが合わなくなった子供服やくつなどを掲示板を使って交換していたのが好評で、今年よりフリーマーケットとして開催。親同士の交流や、子どもにとってはお店やさんごっこにもなっており、楽しい時間となりました。



9/5

三豊ライオンズクラブより、AED「自動体外式除細動器」4台が寄贈されました。これは三豊ライオンズクラブ35周年記念事業として、地域のニーズに合ったものをと、行われたものです。AEDは市内の施設へ設置し、もしものときに備えます。



8/24

麻小学校区の麻放課後学童クラブ「たけのこキッズ」が、焼き物の絵付け教室で作成した作品の窯出しをしました。高瀬町の湯浅益生さん（陶芸家）の指導のもと、親子で素焼きのお皿などにクレヨンや絵の具で、思い思いの絵を描いて作り上げました。子どもたちは、世界で一つだけのお皿やコップの出来栄に大満足でした。



9/8

財田町道の駅「たからだの里さいた」で恒例の新米まつりが開催されました。これは今年最初に収穫した『たからだ米』の新米を通常より安く販売するもので、限定1000袋販売されましたが、わずか1時間ほどで完売しました。試食として振る舞われた新米のおにぎりは、独特の甘みとみずみずしさがあり、皆おいしくほおばりました。



9/4

辻小学校4、5年生が「EMぼかしづくり」を体験しました。これは13年前から毎年行なっていて、渡邊清さん（市地区衛生組織連合会会長）と市職員指導のもと、「もみ殻」と「もみぬか」、「EM菌+糖蜜」をよく混ぜて袋に入れました。完成した「EMぼかし」は、給食の残飯などの生ゴミと混ぜて校内の花や植物に有機肥料として利用し、ゴミの減量化に取り組みんでいます。